

読むと室町のまちが♡好き♡になる

むろ まち がっ く

# 室町学区ニュース

上京区社協が発行する、コロナ禍における  
学区内の動きをお伝えするニュースです。

No.2

Feb.2021



## 室町学区のまちづくり活動について 教えて、会長さん！

今回は、室町社会福祉協議会 藤木 康男 会長に、コロナ禍中・コロナ禍後のまちづくり活動について、  
上京区社協職員がお話を伺いました。



### ◎コロナ禍中のまちづくり活動について

気楽に会って、おしゃべりすることすらままならない世の中になってしまったね。

体調を崩されてしまった方もいらっしゃるかと聞いています。かかりつけ医から「薬を取りに来られない」と聞いたり周りの住民さんから「最近見かけない」と聞いたり…包括訪問時に同席することもあるんです。

コロナ禍だから、集まりたくても集まれないのがつらいね。担い手さん・参加者さんの不安を抱えたまま突き進むわけにもいかないか

ら。これからは少しずつ、コロナ禍の様子を見ながら、時間を短めにして再開したいね。

### ◎コロナ禍後のまちづくり活動について

前回の「室町学区ニュース」で紹介した配食の方のように、こちらで役割をつくって誰もが活躍してもらえる環境をつくるのが大切です。

例えば、学区の組織。以前はどの組織も兼任する人がいらっしゃいました。いい面もあるけれど、限られた方がしんどい思いをすることにもなるし、室町学区には、様々な力をお持ちの方がたくさんいらっしゃる。誰もが活躍できるよう、兼任を減らしていきました。

私の持論は、「やってみて、問題があったから考えたらええやん」「無理せずやってみる」です。まずは、やってみることが大切です。そして、これからは様々な人の居場所をつくっていくことが大切です。

室町学区では例年12月に、(高齢の方向けの介護予防教室である)健康すこやか学級と、子どもクッキングを同時開催していました。高齢・障害・児童…それぞれに分かれてまちづくり活動するのではなく、そうした壁を飛び越えるとより楽しい場になり、みんなで「顔の見える関係」になれます。

学区内の掲示板には、様々なまちづくり活動のポスターを貼らせていただいています。最初は「貼っても誰も見ていないと思うし、意味あるのかな」と思っていました。そしたら、他の担い手の方が「やってることを伝えることは大切ですよ」と言ってくださいました。現に、「ポスターの催し物のこと教えて」と言われることもあり、今では「意味のあることなんやな」と感じています。

これからも室町学区のみなさまには、まちづくり活動に関心を持って、何らかの形で応援していただけるとありがたいです。



コロナ禍前に行った、室町子どもクッキングの様子。



室町学区では、3密や衛生面に気を配りながらまちづくり活動が行われています。



まちづくり活動の内容は、コロナ禍の状況により変更となる可能性があります。

最新の活動は、上京区社協  
(Tel:432-9535) までお問い合わせください。

反対側の面も、ぜひご覧ください！

